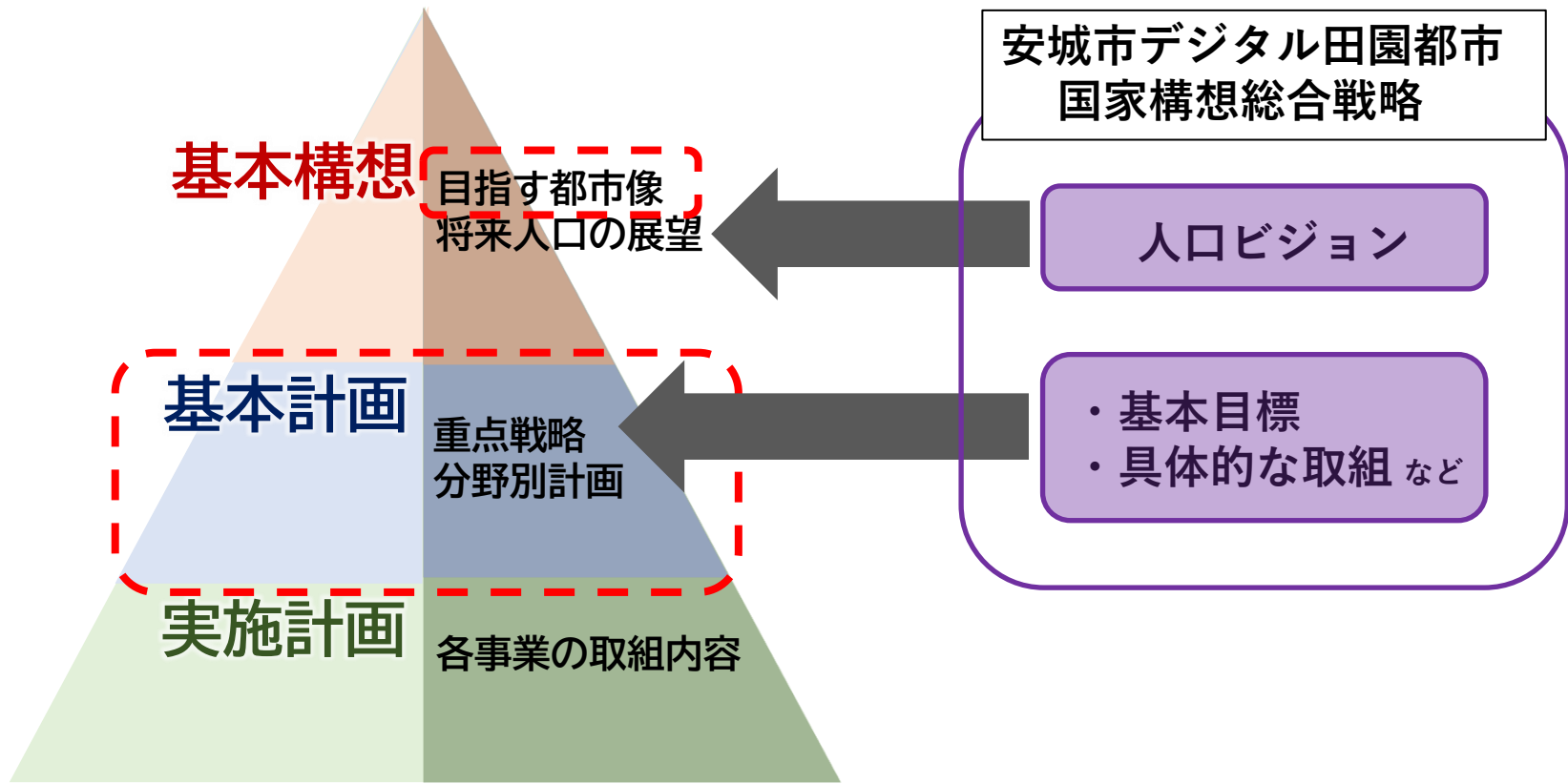


(スクリーン投影資料)

安城市総合計画審議会 第2分科会



第1分科会

No.	氏名	所属及び役職等
1	佐野 真紀	愛知教育大学 准教授
2	都築 豊彦	社会福祉協議会 理事
3	宮下 晴美	愛知県健康づくりリーダー連絡協議会 副会長
4	神谷 志穂	小中学校PTA連絡協議会 副会長
5	酒井 麻利子	株式会社キャッチネットワーク お客様満足創造本部
6	筒井 広治	ボランティア連絡協議会 会長
7	寺田 覚	町内会長連絡協議会 会長
8	戸田 こず恵	さんかく21・安城 幹事
9	近藤 裕己	
10	久恒 美香	教育委員

○第1分科会

【7月21日（金）】

- ・ 目指す都市像
- ・ 重点戦略
- ・ 分野別計画のうち
子育て
学校教育
福祉

【8月14日（月）】

- ・ 分野別計画のうち
市民参加と協働
文化芸術
健康・医療
スポーツ
生涯学習

第2分科会

No.	氏名	所属及び役職等
1	鈴木 健司	日本福祉大学経済学部 准教授
2	安田 孝美	名古屋大学大学院 情報学研究科・情報学部 教授
3	渥美 純一	あいち中央農業協同組合 代表理事組合長
4	河田 光司	碧海信用金庫 専務理事
5	柴田 知幸	連合愛知三河西地域協議会 副代表
6	富田 清治	安城商工会議所 副会頭
7	鳥居 卓司	明治用水土地改良区 事務局長
8	野村 直仁	青年会議所 理事長
9	山本 道生	
10	太田 良子	農業委員会 会長職務代理者

○第2分科会

本日の審議事項

【7月21日（金）】

- ・ 目指す都市像
- ・ 重点戦略
- ・ 分野別計画のうち
農業
商工業
観光・交流

【8月14日（月）】

- ・ 分野別計画のうち
都市基盤
住環境
防災・減災
生活安全
環境
行財政運営

議題 (1)

第9次安城市総合計画 基本構想 (目指す都市像)

ともに育み、未来をつくる

しあわせ共創都市 安城

議題 (2)

第9次安城市総合計画 基本計画 (重点戦略)

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城

しくみ

ちから

ばしょ

プロジェクト
1~3

プロジェクト
1~4

プロジェクト
1~3

KPI...
(重要業績評価指標)



数値目標...

出生数

人口一人当たりの
市民所得

人口の社会増
(前年比)



子どもを育む優しい しくみをつくる

プロジェクト1

子どもを生み育てる希望をかなえる環境の充実

KPI → 子育て環境に対する満足度

プロジェクト2

子どもの健やかな成長を支える教育環境の充実

KPI → みんなと学ぶことは楽しいと答える児童生徒の割合

プロジェクト3

みんながつながり支えあう地域づくり

KPI → 福祉に関する相談先が身近にあると感じる市民の割合



子どもを育む確かな ちからを蓄える

基本計画（素案）
4～5ページ

プロジェクト1

農業の持続的な発展と新たな価値の創出

プロジェクト2

豊かな暮らしを支える地域経済の活性化と雇用の創出

KPI → 市内総生産額

プロジェクト3

新たな人の流れと価値を生み出す魅力づくり

KPI → 観光施設やイベントにおける観光入込客数（単年度）

プロジェクト4

誰もが活力にあふれ、活躍できる環境づくり

KPI → 健康であると感じている人の割合



子どもを育む安らぎの ばしよを築く

プロジェクト1

誰もが住みたくなる魅力的なまちづくり

KPI → 居住誘導区域の人口

プロジェクト2

穏やかな暮らしをかなえる安全・安心なまちづくり

KPI → 防災・減災対策に対する満足度

プロジェクト3

豊かな環境と限りある資源を未来へつなぐまちづくり

KPI → 魅力ある自然環境にあふれたまちであると思う人割合

議題 (3)

第9次安城市総合計画 基本計画 (分野別計画)

10

分野別計画

(1) 重点戦略との関係性

基本計画（素案）
8ページ

分野		重点戦略			掲載ページ 番号
		しくみ	ちから	ばしょ	
1	子育て	●		●	10~11
2	学校教育	●		●	12~13
3	福祉	●			14~15
4	市民参加と協働	●	●		16~17
5	農業		●	●	18~19
6	商工業		●		20~21
7	観光・交流		●	●	22~23
8	文化芸術		●	●	24~25
9	健康・医療	●	●		26~27
10	スポーツ	●	●		28~29
11	生涯学習	●	●		30~31
12	都市基盤		●	●	32~33
13	住環境			●	34~35
14	防災・減災	●		●	36~37
15	生活安全	●		●	38~39
16	環境	●		●	40~41
行財政運営					42~43

分野別計画

（2）分野別計画の見方



5 農業



関連する主な SDGsの目標



この分野で目指すまちの姿

食育や地産地消を通じた農業を支える市民生活の実現により、農業の持続的な発展を目指します。

現状と課題

- ◆ 農業従事者の高齢化や後継者不足により、労働力の確保に大きな影響が懸念されており、対策が必要です。
- ◆ 地球温暖化による気候変動や政情不安などを理由とした食料安全保障に関する問題に備えるため、日ごろから農業生産の維持・増大を図り、食料自給率を高める取組が必要です。
- ◆ 農業が抱える、生産コストの増大分を農畜産物の販売価格に転嫁できないという構造的な課題により、農家の経営は圧迫されており、農業経営を安定させるための支援が必要です。
- ◆ 老朽化した農業用施設の更新や整備を通じて、良好な農業生産基盤を次世代へつないでいく必要があります。
- ◆ 農業への理解が低下し、伝統的な食文化や田園風景、地域の祭りなどの衰退が心配される中、市民の心身の健康や豊かな人間性の形成、食と農のつながりを深めるために、食育と地産地消の推進や農業との触れ合いの促進が必要です。
- ◆ SDGsやカーボンニュートラルへの取組において、持続可能な農業の実現に向けて、食料の安全性向上や環境負荷の軽減等、自然と調和した活動等が求められています。

用語の説明

基本計画（素案） 18～19ページ

施策

(1) 担い手の育成及び確保

- ① 認定農業者の育成や法人化、円滑な経営継承などの支援により、地域農業の中心的な担い手を育成します。
- ② 新規の就農希望者に対する支援体制の充実を図り、次代を担う農業者を育成します。
- ③ 女性の経営参画や定年帰農者の就農などを支援し、広く農業を支える多様な担い手を育成します。

(2) 地域の特性を生かした多様な農業支援

- ① 先進事例の研究や農業者への支援により6次産業化を推進します。
- ② 生産性や収益性を踏まえて最新技術の導入に取り組む農業者を支援し、スマート農業を推進します。
- ③ 農業技術・経営管理能力の向上のための研修会や国制度の活用などにより、農業経営体の育成及び支援を推進します。
- ④ 地元農産物のブランド化及び販路の拡大を推進します。

(3) 農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進

- ① ほ場の大型化や農業用施設の更新などにより、良好な農業生産基盤の整備を進めます。
- ② 優良農地を保全し、調和のとれた農村環境の整備を進めます。
- ③ JAなどの関係機関との連携に努め、農地の利用集積を促進します。
- ④ 魅力ある自然環境、生活環境づくりのため、農地などが持つ多面的機能を保全する地域活動を支援します。

(4) 食育の普及及び農への理解とふれあい・交流の促進啓発活動の推進

- ① 大学などと協働して地元農産物を使用したレシピ開発を行い、各種イベントでのPRを行います。
- ② 動画やSNSなどを効果的に活用し、若い世代への食育の啓発を図るなど、年齢や生活場面に応じた切れ目ない食育活動を推進します。
- ③ 農業の魅力の発信、農産物の安全性や学校給食における地元産使用情報の提供など、農業への理解と消費者の信頼の向上を図る取組を促進します。
- ④ 交流機会の創出、農のあるくらしの普及促進、小中学校や保育園・こども園などでの農業体験を推進します。

(5) 環境保全型農業の推進

- ① 農薬・化学肥料の使用量の低減や廃プラスチックの排出抑制など、環境と調和した持続可能な農業を推進します。

成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
安城市内の食料自給率		
食育に関心がある人の割合		

関連計画

- 第3次安城市食料・農業・交流基本計画
- 安城農業振興地域整備計画

6 商工業



関連する主な SDGs の目標



この分野で目指すまちの姿

小売・サービス業の魅力向上や活力ある商業集積の形成、ものづくり産業の経営基盤及び競争力の強化と新規産業の創出等、商工業のバランスがとれた発展を図り、市内経済の活性化と豊かな市民生活の実現を目指します。

現状と課題

- ◆ 商店街の空き店舗減少と魅力ある小売・サービス業の創出が必要です。
- ◆ 事業者の高齢化・後継者不足、商店街活動の担い手不足等の課題があることから、商店街振興組合に限らない幅広い担い手による賑わい創出への取組が求められています。
- ◆ 自動車産業のCASE革命等、新たな分野における技術革新が進んでいることから、自社技術を活かした新製品や新技術の開発に取り組む中小企業を支援していくことが必要です。
- ◆ カーボンニュートラルやデジタル化等、時代の変化に対応できる中小企業支援が必要です。
- ◆ 企業の立地需要は高い状況にあり、需要を満たす用地の確保が必要となります。
- ◆ 成長産業に係る企業誘致と市内企業の流出抑制のため、企業立地を推進していく必要があります。
- ◆ 雇用の定着、雇用の創出のため、創業に対する支援や事業承継に対する支援を積極的に進めていくことが必要です。
- ◆ 多様な働き手の参画を促し、労働力を確保するための取り組みが必要です。
- ◆ 長時間労働の抑制、ワーク・ライフ・バランスの実現等、働きやすい・働きがいのある職場づくりが求められています。

用語の説明

施策

(1) 商業の振興

- ① 安城ビジネスコンシェルジュによる経営支援や創業支援を行います。また、関係機関と共に経営基盤の強化、合理化等を支援します。
- ② 主要駅周辺の商店街における賑わい創出のための取組を支援します。

(2) ものづくり産業の振興

- ① 新製品や新技術の開発への意欲向上につながる支援を行います。
- ② 経営向上に資する取組（特にカーボンニュートラルやデジタル化）について情報発信による啓発を行うとともに、事業者へのヒアリング等を踏まえ、効果的な成果が出るよう中小企業を支援します。
- ③ 既存企業の流出抑制を図るため、事業所の拡張に対応可能な工業用地の確保について検討するとともに、各企業自身において用地取得が可能となるような環境の整備について検討します。
- ④ 融資制度、補助制度の周知を図るとともに、安城ビジネスコンシェルジュによる経営支援を行います。

(3) 企業立地の推進

- ① 企業立地を推進するため、公共による工業団地の造成に加え、民間開発においても必要な用地が確保されるよう計画的に施策を進めます。
- ② 産業ゾーンへの立地が促進されるように環境整備等の支援を行います。

(4) 創業支援・事業承継の推進

- ① 安城ビジネスコンシェルジュが安城商工会議所及び金融機関と相互に連携し、創業時や事業承継時に加え、創業後・事業承継後の伴走支援も行い、事業経営を支援します。
- ② 創業支援・事業承継の推進により雇用の維持・拡大を図ります。

(5) 雇用・就労支援

- ① 若年無業者や子育て世代の就職支援を通じ、地域の労働力確保及び雇用定着を図ります。
- ② 企業誘致、創業支援により雇用を拡大し、就業機会の増大に努めます。
- ③ 働きやすい・働きがいのある職場環境を整備する中小企業の取組を推進します。

成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
市内総生産額		

関連計画

- 安城市企業立地推進計画
- 第三次安城市都市計画マスタープラン
- 安城市農業振興地域整備計画

7 観光・交流



関連する主な SDGsの目標



この分野で目指すまちの姿

観光施設や史跡等の地域資源を最大限活用し、積極的なシテ
ィプロモーションに取り組むことで、まちの賑わい創出や交
流人口、関係人口の拡大を目指します。

現状と課題

- ◆ より多くの市民参加や環境への配慮等、時代の変化に対応したさらなる魅力ある安城七夕まつりの開催が求められています。
- ◆ 国指定史跡である本證寺境内をはじめとした歴史資源を有効に活用し、市民及び観光客が歴史文化に触れる機会を提供する必要があります。
- ◆ デンパークをはじめとした観光資源について、質の高い、魅力ある施設運営に引き続き努める必要があります。
- ◆ 認知度やブランド力を向上させ、訪問の目的地として選ばれるまちとなるよう取り組む必要があります。
- ◆ 人口減少や少子高齢化により、まちづくりに関わる人材が減少することから、居住地に関わらず、本市のまちづくりに携わってくれる人材を確保する必要があります。

用語の説明

施策

(1)観光資源の活用

- ① デンパーク、丈山苑等の観光施設をはじめ、国指定史跡の本證寺境内、新美南吉、安城芸妓等様々な地域資源について、観光資源としての活用や魅力向上に努めます。
- ② 市民や市外からの観光客に、まちの魅力を詳しく知ってもらえるよう、観光資源を周遊できる多様な観光モデルコースを設定します。

(2)観光資源の充実

- ① 安城七夕まつりは、まつりに関わる市民との協働により、「願いごと、日本一。」のコンセプトを活かしたまつりの魅力を国内外に広く発信します。
- ② 市民の憩いの場としてだけでなく、貴重な観光資源となっているデンパークは、質の高い施設運営により、来園者の満足度を高めるよう努めます。
- ③ 特産品等を活用した新たな商品開発を支援し、観光消費の拡大につなげます。

(3)観光情報の発信・シティプロモーション

- ① ウェブサイトや SNS 等の活用により、観光情報の効果的な発信に努めます。
- ② 地域の魅力を地域の人々が伝える、ガイドボランティア活動を支援します。
- ③ 近隣市町と連携し、広域的な観光を推進するとともに、外国人に対応した観光情報の発信に努めます。
- ④ まちの魅力を積極的に発信し、認知度やブランド力の向上に努めます。

(4)さらなる交流の促進

- ① アンフォーレ等において、さらなる人々の交流促進やまちの賑わい創出のきっかけ作りを行います。
- ② プロバスケットボールチームの本拠地として計画される地域交流の拠点における民間事業者との公民連携の取組等、多様な主体との連携により交流人口、関係人口を生み出します。
- ③ ふるさと納税返礼品の充実により、関係人口の創出を図ります。

成果指標

指 標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
観光施設やイベントにおける観光入込客数（単年度）		
ふるさと納税制度を利用した寄附件数		

関連計画

- 史跡本證寺境内整備基本計画
- 桜井古墳群保存管理計画
- 国指定史跡本證寺境内保存活用計画
- 第3次安城市食料・農業・交流基本計画